第九講・セミたちと温暖化（説明文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

もう三〇年以上も前、まだ東京の農工大に教員として勤めていたときのことだ。そのころのぼくは小金井にあった農工大の宿舎に住んでいた。階下と二階に一間ずつしかない①狭い宿舎だった。

ある年の正月。前から知っていた成城学園小学校の庄司和晃先生が、何やら大きな風呂敷包みを抱えて②ひょっこり訪ねてきた。

お通しすべき応接間もない。玄関先で先生は、*やおら風呂敷包みを開き、折り畳まれた紙を広げて③ぼくに見せてくれた。

それには何と、画用紙から切り抜いたアリの絵が大きな紙にたくさん貼りつけてあった。

「これは子どもたちが描いたアリの絵です」と先生はいう。

授業のはじめ先生は、生徒たちに一枚ずつ画用紙を渡し、いきなり「さあ、この紙にアリの絵を描いてみなさい」と言ったのだそうである。生徒たちは当惑した。みんな一生けんめい頭の中でアリの姿を思いうかべ、それを絵に描こうと努力した。

絵ができあがると、先生は子どもたちの作品を一枚ずつ集め、職員室で丁寧に切り抜いて、大きな紙に貼っていった。それが一年生のから六年生のまでの合計六枚になった。先生が一枚ずつ広げてくれるその絵を順番に見ていくと、④じつにおもしろかった。

アリというから小さく小さく描いている子。かと思うと、一〇センチもある巨大なアリを描いている子。みな思い思いに描いている。

ひげ（触角）にリボンをつけているのは女の子の描いた絵だ。子どもたちがそれぞれに抱いているさ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

まざまなアリの姿の思いに、ぼくは感嘆した。

〈日高敏隆「セミたちと温暖化」より〉

＊やおら＝ゆっくりと動作を始める様子。

(1) ――線①「狭い宿舎」とありますが、宿舎が狭いということがわかる一文を、これよりあとの部分からぬき出しなさい。

□

(2) ――線②「ひょっこり訪ねてきた」とありますが、庄司先生は何のために筆者を訪ねたのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□□□□□□□
□□□□を見せるため。

(3) ――線③「ぼくに見せてくれた」とありますが、それを見たときの筆者の反応を最もよく表している漢字二字の言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□

(4) ――線④「じつにおもしろかった」とありますが、筆者はなぜこのように感じたのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

子どもたちが□□□□□描いた
アリの絵からは□□□□□□
□□□□□□□□□□
□□□□□□が伝わるようだったから。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

庄司(しょうじ)先生が、上、中、下と三段(だん)になったアリの絵を見せてくれた。それは一人の子どもが描(か)いたアリの絵で、上段はいきなりアリを描きなさいといって描かせたもの、中段はアリを実際に見ながら描かせたもの、下段は先生が説明したあとで描かせたものだということだった。

「さあそれからひげだ。触角(しょっかく)はどっち向いてる？後向きになってるかい？」

子どもたちはそこでまたあらためて気がついた。

「あ、前向きになってる！」

「そうだろ。アリさんは触角で前を探(さぐ)りながら歩くから、触角が後ろ向きになっていたら困(こま)るんだよ」

子どもたちはうなずいた。

「さあ、もういっぺんアリをよく見ながら描いてみなさい」

こうしてできあがったのが最下段の絵であった。

子どもたちのアリの絵は、ぐっと実物に近くなった。頭と胸(むね)と腹(はら)。胸には六本の肢(あし)。頭から前を向いた触角。

大事だったのは子どもたちがみんなそれぞれに納得(なっとく)がいった上で、この絵を描いたことであった。たいていの女の子たちは、こうしてできあがった立派(りっぱ)なアリの触角に、ちゃんとかわいらしいリボンをつけていた。

当時も今も、「とにかくまず実物を見せろ」というのが教育の原則であった。ぼくも努めてそうしていた。しかし庄司先生のこの一連のアリの絵の話を聞いて、目からうろこの気持ちだった。

人間は実物を見たからといって、おいそれとその実物が見えるものではないということが、しみじみよくわかったからである。

ぼくがとくに感動したのは、いちばん上段の絵を描きながら、頭と胴(どう)を描いたり消したりして迷っていた子の絵が、本物のアリを見せられたとき、先生の説明はまだなかったのに、＊忽然(こつぜん)として頭と胸と

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

腹になっていたことであった。

〈日高（ひだか）　敏隆（としたか）「セミたちと温暖化（おんだんか）」より〉

＊忽然として＝たちまち。またたく間に。

(1) 庄司先生がこの文章のような方法で子どもたちに絵を描かせたのは、どんなことが大切だと考えていたからですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

子どもたち一人ひとりが □□□□ □□□ で絵を描くこと。

(2) ――線「人間は実物を見たからといって、おいそれとその実物が見えるものではない」とありますが、それはなぜだと考えられますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　人間は実物よりも頭の中のイメージが大切だと考えるから。

イ　人間は思いこみや先入観にとらわれていることが多いから。

ウ　現代人は視力（しりょく）のよくない人が多いから。

エ　人間の目は細かい部分までよく見ることはできないから。

□

(3) 最後の段落の内容からどのようなことがわかりますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　迷いを断ち切らなければ、どんなことも成功しないということ。

イ　物事に迷わなければ、実物にたどり着くことはできないこと。

ウ　迷うことは物事を注意深く見ることにつながるということ。

エ　物事に迷ったときは実物を見ることで解決できるということ。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講・確認（かくにん）テスト

次の熟語の組み立てとして正しいものを、後からそれぞれ選びなさい。

１　乗車
２　強風
３　非常
４　未熟
５　市営

ア　上の字と下の字が主語・述語の関係になっているもの
イ　上の字が下の字を修飾（しゅうしょく）する関係になっているもの
ウ　下の字が上の字の目的語になっているもの
エ　上に打ち消し語がついているもの

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　セミたちと温暖化（説明文）

一題目

(1) お通しすべき応接間もない。
(2) 子どもたちが描いたアリの絵
(3) 感嘆
(4) 思い思いに・それぞれに抱いているさまざまなアリの姿の思い

二題目

(1) 納得がいった上
(2) イ
(3) ウ

〈確認テストの解答〉

１　ウ　２　イ　３　エ　４　エ　５　ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。